

# 有田市コミュニティ・スクールだより

パワーポイントに映し出された「本日のメニュー」にしたがって進行

令和元年度

## 第1回有田市コミュニティ・スクール連絡協議会

各学校運営協議会長と教育委員会関係者が出席して情報や意見を交流する会

### 本日のメニュー

- 1 有田市の学校教育
- 2 3年目の取組について
- 3 地域学校協働活動との一体的な推進にむけて
- 2019年度のスケジュール(案)



5月7日、それぞれの第1回学校運営協議会の内容、今後の見通しなどを各会長からお話いただいた後、意見交流しました。出された意見を一部抜粋します。

- 有田市教育委員会では、校長・教頭・事務・教員に対してそれぞれ研修を実施して、コミュニティ・スクールへの意識を高めようとしている。我々も自分たちが中心となって地域に理解を求めていかないといけない。
  - 中学校で学校生活に関わる熟議をするとき、生徒の意見も聞いてみたい。可能なら生徒も出席して。
  - 中学校統合を見据えての体制を含め、今後のコミュニティ・スクールを考えていかなければならない。
- 有田市では「交流」を大事にしています。「交流」は、ほどよい刺激になっているようです。連絡協議会を定期的にかけてきたからこそ、有田市のコミュニティ・スクールが着実に成長してきたといえます。



## コミュニティ・スクール研修会

有田市教育委員会主催

～さまざまな仕事内容に即して～

6～7月、それぞれを対象に各研修会を実施

### 校長

→ 学校の長として、コミュニティ・スクールに係るマネジメント力をよりよく発揮するため  
[具体的には、「地域とともにある学校」づくりを目指す上での学校の取り組み再確認、当事者意識の高まってきた学校運営協議会への関わり方など]

### 教頭

→ 地域との関わりが多い立場から、校長のマネジメントをよりよく補佐するため  
[具体的には、地域とのつながりの窓口としての立場の重要性とともに、学校運営協議会における役割など]

### 事務職員

→ 法改正で仕事の可能性が広がったことから、学校全体のコミュニティ・スクールに係る取り組みをよりよく補佐するため  
[具体的には、コミュニティ・スクールを理解した上での電話や来客への対応の大切さなど]

基本は共通して、主に「学校運営協議会の法的理解」「コミュニティ・スクールについての基礎知識理解」「有田市のコミュニティ・スクールの歩みと現状の把握」について講義を行い、その後、それぞれの立場で「できること」「すべきこと」等をグループ協議しました。



校長研修会



教頭研修会



事務職員研修会

### 教員

→ 常に子供と接する者として、効果的に学習内容をよりよく実施していくため

7月31日、市民会館にて、小学校、中学校合同で行いました。第1部として、6人程度のグループに分かれ「地域とともにある学校」について協議し、第2部として、貝ノ瀬滋氏(東京都三鷹市教育長)に「地域とともにある学校づくり～コミュニティ・スクールとは～」と題して講演していただきました。講演については、各学校運営協議会委員の方々も出席くださいました。貝ノ瀬氏は、「国難とも言うべき少子高齢化」に対応すべく、地域と学校が協働してともに成長していくためには、学校運営協議会及びコミュニティ・スクールが重要であることを、豊富な実践から具体的にお話くださり、大変有意義な研修となりました。



教員研修会

コミュニティ・スクールがスタートして3年目、まだまだ勉強中というところです。これからも様々な形で研修を重ね、よりよく取り組みを進めていきたいと考えます。今後とも皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。